

平成 26 年度地域医療・介護連携推進事業 一関コミュニティFM (FM あすも) 番組
放送日：平成 27 年 1 月 28 日 (水) 17:20~17:35 (塩竈一常 GET KING!!)
(再放送：2 月 1 日 (日) 9:10~9:25 REFRESH!!)

「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」

第 14 回放送 一関東部地域包括支援センター 鈴木隆稔 主任主事

(聞き手：FM あすも 塩竈一常)

塩竈 「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」一関では、高齢化が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療から介護への切れ目ないサービスを目指しています。このコーナーでは、医療機関や介護施設の役割、また利用方法などを医療・介護・福祉の関係者とそして私たち市民が、ともに理解、協力することを目的に一関市健康づくり課の提供でお送りします。

塩竈 さて私たちが住んでいるのは、その地域毎にいろいろな違いというのが微妙にありますよね。それぞれの地域性に応じた包括ケアシステム、この構築を目指しているいろいろな取り組みを一関地区広域行政組合では行っています。今日ご紹介するのは、「一関東部地域包括支援センター」どんな取り組みをこの地域包括支援センターで行っているのか具体的な内容などについてお話を伺っていきます。

塩竈 今日スタジオには、一関東部地域包括支援センターの主任主事 鈴木隆稔さんにお越しいただきました。鈴木さん、よろしくお願ひします。

鈴木 よろしくお願ひします。

塩竈 まず、この鈴木さんのお仕事をされています「地域包括支援センター」センターの名前をよく聞いたことがある方というのは多くいらっしゃるかと思うんですけれども、このセンターの取り組みについていろいろ伺っていきたいと思います。そもそも、地域包括支援センターというのはどういった機関なんでしょうか。

鈴木 地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、平成 18 年度から介護保険法により設置されている機関です。

塩竈 これは、国の法律によって設置されているとことで全国各地にあるということですね。

鈴木 そうです。

塩竈 私たちが住んでいる一関のエリアではどうかというところを教えてください。

鈴木 一関地区広域行政組合では、西磐井地域、東磐井地域の高齢化率ですとか、医療をはじめとした社会資源の違い、そういったそれぞれの地域性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を目指して、一関市に 6 か所、平泉町に 1 か所の地域包括支援センターを設置しています。このうち東磐井地域には、「東部地域包括支援センター」、「高齢者総合相談センターしぶたみ」、それから「高齢者総合相談センターふじさわ」の 3 か所を整備しています。

塩竈 今日鈴木さんには、東磐井地域にあります 3 か所の包括支援センターなどについてお話を伺っていきたいと思います。それぞれで行われている活動なんですけれども、こちらのほうご紹介いただけますか。

鈴木 介護保険制度では、高齢で介護が必要となっても、できるだけ住み慣れた地域でその人

らしい生活が送れるよう、医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が地域において一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。地域包括支援センターでは、その実現に向けて、包括的支援事業として4つの事業を実施しています。

塩竈 いろいろな分野、その高齢になった生活の中で必要とされるものについて、地域で一体的にそういったサービスが提供されていく、そういった事業なんですけど、4つの分野の事業があるということです。まず1つ目はどんなことでしょうか。

鈴木 1つ目は、「介護予防ケアマネジメント」です。これは、要介護状態の予防や介護状態の悪化の防止のために、介護予防計画の作成等を通じて、高齢者の方が自主的に介護予防に取り組んでいただけるように支援をしています。

塩竈 1つ目が介護予防ケアマネジメントこういった取り組みです。2つ目はこういったものですか。

鈴木 2つ目は、「総合相談」です。総合相談では、地域に住む高齢者の相談を受け、適切な機関や制度、サービスなどに繋ぐことで解決を支援していきます。

塩竈 なるほど。年齢が高くなっていくと、いろいろその生活の中でも不安なことというのが増えてくるでしょうから、そういったものを総合的に相談にのってもらえる場所というところですね。3つ目の取り組みはどういったものでしょうか。

鈴木 3つ目は、「権利擁護」です。権利擁護は、高齢者の虐待に繋がる事案ですとか、認知症等で判断能力が不十分な方への支援を、一関市、平泉町とか関係機関と連携しながら実施しています。

塩竈 できるだけ健康に健やかに過ごしていく権利というものは、皆さんあるわけですので、

これを守っていくための取り組みをしているということですね。4つ目の取り組みはどういったものでしょうか。

鈴木 4つ目は、「包括的継続的ケアマネジメント」です。こちらは、医療・介護・あるいは金銭管理等複数の領域に跨る課題への対応が必要な場合や、病院から在宅への移行などの際に、支援が途切れないように高齢者を担当しているケアマネジャーの方を支援したり、そういった地域の連絡体制を整備したりするという事業です。

塩竈 番組の中でもこの介護の分野、医療の分野の話というのをよく伺うんですけども、それぞれの制度というのは、実は本当に充実しているものというのは沢山あるわけですけども、住民の方々が、なかなかそういったところをご存じなかったり、実はこういったものもあったから、もっと早くから利用していたら良いなって気づくことっていろいろあるようなんですよね。こういった皆さんに、いろんな情報というのを包括的に伝えていく、また、継続的に伝えていくという取り組みもされているということです。こういった取り組みというのを有効に機能させるために、いろいろなものというのが重要になってくるかと思うんですけど、ここについて鈴木さん教えてください。

鈴木 はい。こうしたことを有効に機能させるためには、支援を必要としている高齢者の方を早期に支援につないでいくことが重要になってきます。高齢者の方の中にはですね、自ら支援を求めることが困難な方もおられますし、こういったことがありますので、東磐井地域においては平成24年度から、「気づきの通報を受ける仕組み」として取り組みを行っています。

塩竈 「気づきの通報を受ける仕組み」。いろいろ高齢になってくると手助けが必要になってくる、いろいろな支援というところが必要になるんですけども、そういった方々が、ここに居るところに、まずは地域全体で気づくというところを始めようとことなんです。具

体的にはどんな取り組みなんですか。

鈴木 こちらはですね、郵便局ですとか、乳製品の配達、あるいは新聞配達、それから食事の配達をしている事業所さんのご協力をいただきまして、訪問先で、例えば、配布したものが郵便受けに溜まったままになっていたりとか、実際お会いしている中で、ちょっと物忘れが目立つようになってきたなあなんていう方がいた場合にはですね、包括支援センターに連絡を入れていただくという取り組みになります。

塩竈 なるほど。昔からその地域の生活の中では、隣近所でいろいろ声を掛け合ったりとか、それから、あそこのおじいちゃんとか、おばあちゃん見なくなったなあというところで、地域の方々が気づいていくということで、世の中、成り立っているというところがありましたけれども、そこに加えて、連絡をする先ということで、地域包括支援センター、ここに連絡を入れてもらうことでいろいろな取り組みにこう結び付けていく、効率的に結び付けていくことができるわけですね。平成 26 年度ですが、協力いただいている事業所というのは東磐井地域ではどのくらいあるんでしょうか。

鈴木 平成 26 年度は、26 の事業所にご協力をいただいています。

塩竈 なるほど。生活の中でこれだけの数の事業所があると関わる機会というのはあるでしょうからね。これまでの取り組みの中で功を奏したといいますか、何か結びついた事例ってあるんでしょうか。

鈴木 平成 25 年度にはですね、8 件の連絡がありまして、その中には実際に介護サービスの利用等に繋がったという事例もございます。

塩竈 そうなんですか。気づくということで、先ほどもお話がありましたけれども、郵便の方ですとか様々な配達の仕事をされている方に協力を依頼する、例えば新聞が溜まっていたりとか郵便物が溜まっている、こういったところの

気づきというんでしょうかね。

鈴木 そうですね。

塩竈 これによって、なかなか動けなくなっている状況になっている方に気づくことができたとか、それから、いろいろなそういったサービスの利用に結び付けることができたということなんですね。もちろん旅行とかでご自宅にいらっしゃらないっていう場合もあるんでしょうけれどもね。

鈴木 そうですね。新聞が溜まっている等の連絡があった場合もですね、やはり調べてみると、入院ですとか旅行に行っていて不在にされていたという場合も多く見られるところです。

塩竈 そういった状況の中で、例えば、そういった公の取り組みの方々が、自分に対して大丈夫ですかと声をかけてもらえるというふうになると、住民の皆さんからすると心強さっていうのも増してきますよね。

鈴木 はい。

塩竈 この地域の中でこういった取り組みが行われているということなんですけれども、こういったのを運用しているといいますか、包括支援センターの皆さんの取り組みだけではなく、実際に関わってくる市民の方々も同じように協力していくということが必要かも知れませんね。

鈴木 やはり地域においてはですね、特にも、ひとり暮らしの高齢の方ですとか、高齢者のみのご世帯という方につきましては、多様な方々が見守りをさりげなく行っているということがあります。そういうことがありますので、高齢者の方もですね、普段から地域とのつながりというのを意識していただきまして、例えば、数日間家を離れる際には、近隣や配達事業者などに一言「行って来るよ」と声をかけて行っていただくとお互いに安心して生活ができるようになるのではないかと考えております。

塩竈 今のちょうど高齢者と言われている方々というのは、現役世代にそれぞれの家庭の自立であったりとか、個人を大切にとか、个性的なところをすごく言われていた世代かも知れませんが、そういった中で、どうしても地域の繋がりをなかなか持たないまま年齢を重ねたという方もいらっしゃるかもしれませんが、あらためてこういった取り組みというのが地域で行われている、そこと繋がっていきつつ一歩を踏み出すことで、よりこういった仕組みというのは強くなっていくんじゃないかなって思うように感じたりもしました。

塩竈 さて今日はですね、この東磐井地域の包括支援センターについてお話を伺ってきたんですけども、いろいろな相談ごとですね、高齢者の方ご自身からの相談もそうですし、それから地域でちょっと気になる高齢者の方がいらっしゃる場合、それぞれ皆さん連絡をしていただくことでこういった繋がりに結び付けることができます。鈴木さん、東磐井地域ではこの窓口というのは、こういったところで設けられているのでしょうか。

鈴木 東磐井地域ですけれども、千厩・室根・川崎地域の方につきましては、「一関東部地域包括支援センター」こちらに連絡をいただきたいと思っています。それから大東・東山地域の方につきましては、「高齢者総合相談センターしづたみ」こちらに連絡をいただきたいと思っています。それから藤沢地域の方につきましては、「高齢者総合相談センターふじさわ」に連絡をいただきたいと思っています。

塩竈 皆さんのお近くの地域包括支援センターまでご連絡をお願いします。あらためて、千厩・室根・川崎地域にお住まいの方、一関東部地域包括支援センター、千厩支所の1階にあるということです。電話番号51-3040です。続いて、大東・東山地域にお住まいの方、こちらの方々の地域包括支援センター、高齢者総合相談センターしづたみ、大東保健センターの中に設けられています。電話番号71-0053です。藤沢地域の皆さん、老健ふじさわの中に高齢者総

合相談センターふじさわが設けられています。ここは電話番号63-3181となっています。まさに、ご家族の中に高齢の方がいらっしゃるかどうか、それからご自身で年齢が高くなってきたかなって思う方々は、こういった支援センターの存在ご存知かもしれませんけれども、今の話の中では、地域ぐるみでこういった方々を見守っていくというのが大切だということに感じました。自分の身近に高齢の方が居たかな、どうかなって思う方でも、そういったところで連絡するということで、地域と繋がることってあるかもしれませんので、お住まいの地域の地域包括支援センターの存在というのをしっかりと覚えていただければと思います。今日は一関東部地域包括支援センターの主任主事 鈴木隆稔さんにお越しいただきました。鈴木さん、今日はありがとうございました。

鈴木 ありがとうございました。

塩竈 さて、今日は東部地域、東側の地域の包括支援センターについてご紹介しました。西側の地域ですね、西部地域包括支援センターというのもあるんですね、これはまた、後日みなさんにご紹介していきたいと思っています。

塩竈 地域医療の体制、地域の介護の体制を充実させるため、私たちも積極的に様々な取組に関わっていきましょう。「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」。このコーナーは、一関市健康づくり課の提供でお送りしました。